

健康・医療 **新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例を公表しました**

<「新しい生活様式」の背景>

<「新しい生活様式」の実践例>

○新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言（5月4日）を踏まえ、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を具体的にイメージいただけるよう、今後、日常生活の中で取り入れていただきたい実践例をお示しします。
○以下の例を参考に、ご自身や、周りの方、そして地域を感染拡大から守るため、それぞれの日常生活において、ご自身の生活に合った「新しい生活様式」を実践していただければ幸いです。
※ 感染状況の変化を踏まえ、専門家会議の構成員にも確認いただき、6月19日に一部の記載を変更しました。

「新しい生活様式」の実践例

（1）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
 - 外出時や屋内でも会話をすると、**人との間隔が十分でない場合は、肩肘がなくてもマスクを着用する**。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意する**。
 - 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
 - 人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - **手洗いは流水をかけた水と石けん（手薬）に洗う**（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

（2）日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い、手指消毒** □ 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） □ 身体的距離の確保
- 「**3つの密**」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅療養



（3）日常生活の各場面別の生活様式

- | | |
|---|--|
| 買い物 <ul style="list-style-type: none">□ 通販も利用□ 1人または少人数ですいた時間に□ 電子決済の利用□ 計画を立てて早く済ます□ サンプルなど展示品への接触は控えめに□ レジに並ぶときは、前後にスペース | 公共交通機関の利用 <ul style="list-style-type: none">□ 会話は控えめに□ 混んでいる時間帯は避けて□ はおや自転車利用も併用する |
| 娯楽・スポーツ等 <ul style="list-style-type: none">□ 公園はすいた時間、場所を選ぶ□ 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもちくは自宅で動画を活用□ ジョギングは少人数で□ すれ違うときは距離をとるマナー□ 予約制を利用してゆったりと□ 狭い部屋での長居は禁断□ 歌や応援は、十分な距離かオンライン | 食事 <ul style="list-style-type: none">□ 持ち帰りや出前、デリバリーも□ 屋外空間で気持ちよく□ 大皿は避けて、料理は個々に□ 対面ではなく横並びで座ろう□ 料理に集中、おしゃべりは控えめに□ お酌、グラスやお酒口の回し飲みは避けて |
| | イベント等への参加 <ul style="list-style-type: none">□ 接触確認アプリの活用を□ 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない |

（4）働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 □ 時差通勤でゆったりと □ オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン □ 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

※上記の「新しい生活様式」の実践例は、クリックするとPDFでダウンロードできます。

<専門家会議の提言>

○5月1日の提言では、感染の状況は地域において異なっているため、
1. 感染の状況が厳しい地域では、新規感染者数が一定水準まで低減するまでは、医療崩壊を防ぎ、市民の生命を守るため、引き続き、基本的には、「徹底した行動変容の要請」が必要となる。
2. 一方で、新規感染者数が限定的となり、対策の強度を一定程度緩和されるようになった地域（以下「新規感染者数が限定的となった地域」という。）であっても、再感染拡大の可能性があるため、長丁場に懸念、感染拡大を予防する新しい生活様式に移行していく必要がある。と指摘がありました。

○専門家会議では、これまでも、感染拡大を食い止めるために徹底した「行動変容」の重要性を訴え、手洗いや身体的距離確保といった基本的な感染対策の実施、「3つの密」を徹底的に避けること、「人との接触を8割減らす10のポイント」などの提案を重ねて呼びかけてきました。

（参考）

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の見解

○5月4日の提言では、5月1日の提言も踏まえ、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を整理しています。
○新型コロナウイルスの出現に伴い、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策をこれまで以上に取り入れた生活様式を実践していく必要があります。これは、従来の生活では考慮しなかったような場においても感染予防のために行うものです。
○新型コロナウイルス感染症は、無症状や軽症の人であっても、他の人に感染を広げる例があります。新型コロナウイルス感染症対策には、自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。そのためには一人ひとりの心がけが何より重要です。
具体的には、人と身体的距離をとることによる接触を減らすこと、マスクをすること、手洗いをすることが重要です。市民 一人一人おひとりが、日常生活の中で「新しい生活様式」を心がけていただくことで、新型コロナウイルス感染症をはじめとする各種の感染症の拡大を防ぐことができ、ご自身のみならず、大事な家族や友人、隣人の命を守ることにつながるものと考えます。

「手洗い、咳エチケット等の感染対策」、「3つの密」の回避、「人との接触を8割減らす10のポイント」とともにご活用いただくようお願いいたします。

（参考）

国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）

[ページ先頭へ戻る](#)



PDFファイルを見るためには、Adobe Readerというソフトが必要です。Adobe Readerは無料で配布されていますので、こちらからダウンロードしてください。